



週間情報



No.2931

発行日 平成29年8月15日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 「親子ふれあい消防パーク」を開催

大分市消防局（大分）

大分市消防局では、平成29年7月22日（土）、サッカーJ2大分トリニータ戦の前に、試合会場である大分銀行ドームの周辺において、「親子ふれあい消防パーク」を開催しました。

猛暑のなか、市内の幼少年はもとより、県内外からも多くの方が訪れ、消火体験、煙体験、救助体験、大分DMATによる救急体験など、様々なコーナーを楽しんでいました。なかでも、大分県防災航空隊による救助訓練やドクターヘリの駐機展示、さらには今回初登場のミニ電動消防車コーナーは行列ができるほど大人気でした。あわせて、婦人・女性防火クラブ連合会と消防団による防火チラシの配布などの啓発活動も行われました。

今後も、このようなイベントを通じて幼少年期の子ども達とともに、広く市民に防火・防災意識の醸成を図ります。



【救助体験コーナーの様子】

◆ 少年少女消防体験入隊を実施

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局所沢中央消防署及び所沢東消防署では、平成29年7月25日（火）、所沢中央消防署において、所沢市内の小学5・6年生を対象とする「少年少女消防体験入隊」を実施し、41人の児童が参加しました。

この消防体験は、火災等の災害に対する予防と救急の応急処置を学習することで命の大切さを学び、助け合いの心を育むことを目的として例年開催しています。

今回は、はしご車搭乗体験、地震・煙体験、消火訓練及びロープ渡り訓練、応急処置訓練など10種目を行いました。真夏の暑さにも負けずに参加児童全員が無事に全課程を修了し、児童には修了証が手渡されました。

参加した児童から「災害に備えることが大切だと知りました。」「防災や消防について体験しながら学べました。」などの声が寄せられました。



【放水体験の様子】



【応急処置体験の様子】

◆ 消防団ポンプ操法大会と防災イベントを同時開催

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局南消防署では、平成29年7月30日（日）、香蘭女子短期大学において、南消防団との共催により、南消防団ポンプ操法大会及び防災イベント「来て！見て！体験！消防たい（隊）」を同時開催しました。

南消防団ポンプ操法大会では、8月20日（日）に開催される「福岡市消防団ポンプ操法大会」を前に、管内の6分団が日頃の訓練の成果及び地域防災に携わる消防団員の雄姿を地域住民に披露しました。

体験型の防災イベント「来て！見て！体験！消防たい（隊）」では、消防車・はしご車の試乗、ちびっこレスキュー、防火衣着装、放水体験、バッテリーカー試乗等、多数のブースを設けて地域防災に関する様々な普及啓発活動を行いました。あわせて、福岡県南警察署がパトカーや白バイの試乗体験を、南区役所が7月の九州北部豪雨の義援金箱の設置等を行い、さらには、民間からは南区自衛消防隊連絡協議会の会員事業所である香蘭女子短期大学が開催地の提供、福岡赤十字病院が救命講習の実施、雪印メグミルク福岡工場が飲料水を提供するなど、南区の官民が連携し災害に強い地域づくりを推進しました。



【ポンプ操法大会の様子】



【防災イベントの様子】

訓練・演習

◆ 関西国際空港航空機海上事故対策訓練を実施

堺市消防局（大阪）

堺市消防局では、平成29年7月19日（水）、関西国際空港航空機海上事故対策訓練に、当市消防局から消防艇「茅海」が参加しました。

この訓練は、関西国際空港緊急計画に基づき実施されるもので、空港周辺の海上部で航空機事故が発生したという想定のもと、「茅海」にて要救助者を救助し、岸壁の救急隊へ引き継ぐとともに、出火した落水事故航空機への放水活動を実施しました。

本訓練を通じて、各関係機関の行動指針や意思決定等を確認・検証することができ、相互の連携強化と早期救助体制の確立を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 高速道路上での多重衝突を想定し訓練を実施

士別地方消防事務組合消防本部（北海道）

士別地方消防事務組合消防本部では、平成29年7月27日（木）、高速道路上において多重衝突が発生し負傷者が多数いるという想定で、救助・救出訓練、搬送者の優先順位を決定するトリアージ訓練、各隊との連携訓練などを大規模に実施しました。

訓練は、北海道広域応援消防相互応援協定に基づく応援なども含めた内容とし、エアーテントによる応急救護所設定からトリアージ、搬送までの一連の流れについて実施しました。

当消防本部は、いつ発生するか予測できない災害に対し万全の態勢で迅速に活動できるように、冬季と夏季に各種の想定で大規模訓練を実施しており、今年は交通事故想定で実施しましたが、次回は違った想定での訓練を継続し隊員の連携やスキルアップを目指しています。



【訓練の様子】

◆ 救助訓練（車両破壊）を実施

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年8月3日（木）、新人救助隊員の教育を主眼とする交通事故想定のカリキュラムを作成し、救助定期訓練を実施しました。

今回の訓練は「安全かつ迅速に救出」をテーマに、主に大型油圧器具の基本操作や応用操作を実施しました。実技訓練は積極的に資機材に触れとても有意義なものとなり、隊員一人一人が事故時の対応について十分理解することができました。このことは職員の自信になり、積極的な現場活動につながるものと考えます。



【訓練の様子】

◆ 西入間広域消防組合救急勉強会を実施

西入間広域消防組合消防本部では、平成29年7月5日（水）、第2回西入間広域消防組合救急勉強会を開催しました。

埼玉医科大学急患センターERの芳賀センター長、臨床心理士の高井講師を招き「自殺未遂者支援・基本的な知識と対応の実際」について講義をしていただき、救急隊や救急救命士だけでなく、多くの職員が聴講し、自殺未遂者の対応方法を学ぶことができました。

自殺未遂者の精神状態は多種多様ですが、これからも自損行為に至る心理的過程と要因について理解を深め、傷病者に寄り添った誠実な対応を心掛けていきます。

西入間広域消防組合消防本部（埼玉）**【勉強会の様子】****◆ 小学生以上を対象に「みずの事故からいのちを守ろう！」講座を実施****戸田市消防本部（埼玉）**

戸田市消防本部では、平成29年7月17日（月・海の日）及び29日（土）、市内スポーツセンターにおいて、小学生以上を対象に消防職員による「みずの事故からいのちを守ろう！」講座を実施しました。

夏は海や川などでレジャーを楽しむ機会が増える一方で、水の事故により子ども達が命を落とすことが少なくありません。

水の事故を未然に防ぐために、日常生活での注意点や海、川、プールでの危険性を座学にて実施し、溺れてしまった時の対応方法などの訓練をプールにて実施しました。

子ども達は、「子どもだけで水遊びをしないことや、着衣で泳ぐことの難しさ、水に浮いて待つことの大切さ」を学ぶことができたとのことでした。

今後も、子ども達が水の事故により命を落とすことがないように講座を実施していきます。

**【講座の様子】****◆ ハラスメント防止研修を実施 ～「怒りのコントロール」でパワハラ撲滅！～****千葉市消防局（千葉）**

千葉市消防局では、平成29年7月19日（水）及び20日（木）、ハラスメント防止研修を実施しました。研修には、消防長を含む管理職員をはじめ、400人近くの職員が参加しました。

本研修では、公益財団法人21世紀職業財団の加藤勝雄氏を講師に招き、ハラスメントの基礎知識や「アンガーマネジメント」という怒りのコントロール方法などについてご教授いただきました。

職員からは大変参考になったとの意見も多く、ハラスメントについて改めて考える良い機会となりました。今後は、本研修で得た知識を活かし、全職員がハラスメント防止に対する意識を向上させ、風通しのよい職場環境づくりに向け、職員一丸となって努力してまいります。

**【研修の様子】**

◆ 「火災の燃焼理論～火災事例と火災現象について～」をテーマに研修を実施

相模原市消防局（神奈川）

相模原市消防局では、平成29年7月26日（水）、各消防署の中隊長及び小隊長を対象に「火災の燃焼理論～火災事例と火災現象について～」と題し、信州大学繊維学部 of 若月薫准教授を講師に招き、消防局内研修を実施しました。

講義は、火災の進展に影響する開口部の面積や可燃物の量など、各要素の相関性について実験データを基にした科学的見地により構成された内容で、受講者は真剣に耳を傾けていました。

また、防火衣等個人装備の解説では、防火衣性能のギャップと完全着装の意義を再認識することなど、隊員の安全管理上、必要な知識を得ることができました。



【研修の様子】

◆ メンタルヘルス研修会を開催

高幡消防組合消防本部（高知）

高幡消防組合消防本部では、平成29年7月27日（木）、兵庫県こころのケアセンター研究主幹の大澤智子氏を講師に招き、「惨事ストレスの理解と予防」・「ハラスメントの実態と予防」の二つのテーマで研修会を開催しました。

惨事ストレスについては、回復するために周りの人間が気をつけることなどについて詳しく説明をいただき、また、消防職場のハラスメントについては、実例を交えての講義となりました。当日は、大澤先生の熱心な講義と、エアコンの故障というトラブルが相乗効果を発揮し非常に熱い研修会となりました。

受講した職員からは、「惨事ストレスやハラスメントについて理解が深まった。」、「先生の講義が消防職員にとって興味深いことが多く、今後も講義を受けたい。」などの声が聞かれ有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ おもちゃ花火教室を実施

阿久根地区消防組合消防本部（鹿児島）

阿久根地区消防組合消防本部では、平成29年7月1日（土）から8月18日（金）まで、管内の幼稚園・保育園を対象に「おもちゃ花火教室」を実施しています。

子ども達と「一度にたくさんの花火に火をつけない」、「花火は人や家に向けない」など花火を安全に楽しんでもらうために4つの約束をし、子ども達は約束事項をよく守り安全な花火の使い方を学びました。



【おもちゃ花火教室の様子】

◆ 第38回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会総会を開催

原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会事務局 松江市消防本部（島根）

原子力発電所等が所在する全国15消防本部（会員）で組織する原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会では、平成29年7月13日（木）、青森県むつ市において、原子力規制庁東通原子力規制事務所の松原原子力防災専門官、青森県の工藤危機管理局長、開催地のむつ市からは鎌田光治副市長ら5名の来賓を迎え、第38回総会を開催しました。

会議では、各消防本部が抱える原子力防災に関する諸問題についての意見交換・情報交換が行われました。

また、来賓の皆様からのご助言やご指導をいただくなど、原子力防災対策を考慮する上で大変有意義な会議となり、会員相互の情報連絡体制も更に強化されたものとなりました。

なお、平成30年度総会は、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部（茨城県）において開催されることとなりました。



【総会の様子】

◆ 消防署新庁舎の運用を開始

東大阪市消防局（大阪）

東大阪市消防局では、「防災活動拠点としての機能向上を図り、市民に開かれた消防署」として西消防署の建替工事を進めてきましたが、このほど完成し、平成29年7月29日（土）から本格運用を開始しました。

新庁舎は、鉄筋コンクリート造3階建てで耐震構造を採用し、3日間無給油で運転できる非常用発電設備、燃料備蓄が可能な自家給油施設（ガソリン1万ℓ、軽油1万ℓ）のほか、耐震性防火水槽、災害用マンホールトイレなども設置し、災害によるライフライン断絶時にも機能を維持できる設計になっています。また、LED照明や太陽光発電パネル、ガレージ内の排気ガス除去装置も設置し、環境にも配慮しています。

当市消防局では、西消防署の庁舎や設備を最大限に活用し、市民生活の安全確保に取り組んでまいります。



【新庁舎の外観】

◆ 都電車で「はたらく消防の写生会」作品展を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁尾久消防署では、平成29年8月1日（火）から31日（木）まで、管内の小中学生が消防車両を描いた「第67回はたらく消防の写生会」の入賞作品展を開催しています。

都電荒川線では車両1台に作品を展示し、目印として車両の前後にキュータのイラストを付け、「都電キュータ号」として運行しています。地域住民の足として欠かせない存在となっている都電と、画用紙いっぱいに描かれた消防車や救急車、はしご車が一緒に走る様子は、多くの乗客を和ませてくれます。

はたらく消防の写生会は、子ども達に防火防災の心を育てたいという目的で始まりました。子ども達から発信する防火防災の心が地域全体に広がるよう、今後も関係機関と協力を続けていきます。



【「都電キュータ号」運行の様子】



【車内の様子】

消防学校からの便り

◆ シャッター水圧開放及び切断訓練を実施

青森県消防学校（青森）

青森県消防学校では、平成29年7月21日（金）、文化シャッターサービス株式会社の協力により、初任科入校中の学生69名を対象に、軽量シャッターの水圧開放訓練及びエンジンカッターによる重量シャッター切断訓練を実施しました。

本訓練は、機器取扱訓練の中でシャッターの仕組み、また火災が発生した場合にシャッターを破壊することなく、素早く開放する各種解錠要領などの知識・技術の習得を目的に実施したもので、専門家から指導を受けることにより、シャッターに対する理解が深まり、大変有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

国等の動き

情報提供

◆ 平成29年度消防技術安全所検証・研究成果発表会の開催について

東京消防庁（東京）

東京消防庁消防技術安全所では、検証・研究成果を発表し、消防行政の効果的推進を図るとともに、消防防災科学の発展に寄与することを目的として、検証・研究成果発表会を下記のとおり開催いたしますのでご案内いたします。

記

1 日時

	口頭発表等	ポスターセッション等
年月日	平成29年9月8日（金）	
時間	9時00分から12時00分まで	8時30分から12時30分まで

2 場所

東京消防庁消防学校5階講堂・ホワイエ（東京都渋谷区西原二丁目51番1号）

3 参加申込

参加を希望される場合は、東京消防庁消防技術安全所ホームページ

(<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka/event01.html>) に掲載の「平成29年度消防技術安全所検証・研究成果発表会参加申込書」により、平成29年8月29日（火）までに、下記問合せ先へ電子メール又はFAXでお申し込み下さい。

4 プログラム

(1) 口頭発表等 9:00～12:00 （於：消防学校5階講堂）

ア 消防技術安全所長挨拶 9:00～

イ 成果発表 9:05～10:20

(ア) 長周期地震動等に伴う室内安全に関する検証（その3） 9:05～

- (イ) 消火用ホースの摩耗損傷に関する検証 9 : 20 ~
- (ウ) 実大規模によるふとん火災の燃焼性状に関する検証 9 : 35 ~
- (エ) 濃度等の異なる危険物の性質に関する検証 9 : 50 ~
- (オ) 消防隊員のモチベーションを高めるコミュニケーション方法に関する検証 10 : 05 ~

ウ ゲスト発表 10 : 20 ~ 10 : 35

新座洞道において発生した火災について

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部 榊原 賢吾 氏

エ 休憩 10 : 35 ~ 10 : 50

オ 特別講演 10 : 50 ~ 12 : 00

演題：『人工知能は人間を超える！？』

講師：NHK シニア・ディレクター兼 解説委員 片岡 利文 先生

〔概要〕

2045 年に人工知能は人間を超える！ーシンギュラリティという聞き慣れない言葉とともに、そんな話を一度は耳にしたことがあるのでは？そして、人工知能の進化によって、今ある仕事のおよそ半分が人の手から離れてしまうとも・・・ 消防士はすべてロボットに？でも、ちょっと待って。そもそも人工知能が進化しても、人間にしかできないこととは？

わかりにくい人工知能について、解説のプロフェッショナルが、まるっと、わかりやすくお話しします。これであなたも、人工知能通に！ （家族の中では）

(2) ポスターセッション等 8 : 30 ~ 12 : 30 （於：消防学校5階ホワイエ）

ア ポスターセッション

(ア) 延焼する室内に対する効果的な放水方法の検証ー吹き返しを抑制する放水方法ー

(イ) 実験と火災シミュレーションによる実火災体験型訓練施設の熱環境可視化に関する検証

(ウ) ボリュートポンプの性能及び耐久性等に関する検証

(エ) 装着型パワーアシストロボット等の活用の有効性に関する検証

(オ) 消防活動時における効果的な休息に関する検証

イ 平成28年度消防機器等考案優秀作品展示

(ア) 普通機関訓練コース簡単設定シート

(イ) 現示投影機改良型

(ウ) 網目式中継口カバー

5 その他

- (1) 受付は、8時30分より東京消防庁消防学校1階で行います。
- (2) 会場の都合上、駐車場がございませんので、あらかじめご了承ください。
- (3) 検証・研究成果発表会の終了後に、希望者に対して振動実験装置及び恒温恒湿室を公開する予定です。

問合せ先

東京消防庁 消防技術安全所
 消防技術課 消防技術係 福嶋 大平
 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目13番20号
 電 話: 03-3466-1515 (内線 6342・6347)
 FAX : 03-3468-8732
 Eメール: gijyutuka3@tfd.metro.tokyo.jp

◆ 第65回全国消防技術者会議の開催について

消防庁消防研究センター

消防研究センターでは、全国の消防技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しております。本会議では、消防関係者による一般発表に加え、平成29年度消防防災科学技術賞の表彰式および受賞者による口頭発表・展示発表、さらに、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第21回消防防災研究講演会」も合わせて実施します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1	開催日	第1日 平成29年11月29日（水） 第2日 平成29年11月30日（木）
2	場所	ニッショーホール（日本消防会館） 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	定員	両日とも650人（参加費無料）
4	内容	【11月29日（水）】 ●特別講演 講師：西成 活裕 氏（東京大学先端科学技術研究センター教授） 演題：「渋滞・群衆運動のメカニズムと対策」（仮） ●平成29年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表・表彰式 【11月30日（木）】 ●消防関係者による一般発表 ●第21回消防防災研究講演会 テーマ：「2016年糸魚川市大規模火災」 内容：2016年12月22日に糸魚川駅の北側で大規模市街地火災が発生した。被災した地域は、昔ながらの町並みを保存し観光資源としていた地域で、古くからの木造の建物が多く存在していた。消火活動は出火から鎮火まで30時間以上を要し、焼損面積は30,412㎡に及んだ。この火災は、1976年10月29日に発生した酒田大火（山形県酒田市）以来の通常時大規模市街地火災となった。 多くの応援部隊が駆け付けて消火活動を実施したが、南からの強風に煽られた火勢は海岸線の道路まで到達し、147棟が焼損した。建物や市街地の防火性能の向上や消防力の充実により、通常時に大規模な市街地火災は起きないのではないかと言われていたが、いくつかの条件が重なり大規模市街地火災となった。 消防研究センターでは、鎮火後現地に研究員が入り、延焼拡大の状況、飛び火による被害の把握、煙の状況、被災街区の建物構造などについて調査を実施した。また、消防庁では、今回の大規模市街地火災を受けて「糸魚川市大規模火災を踏まえた今後の消防のあり方に関する検討会」を開催し、問題点の抽出や今後の対応について検討した。今回の講演会では、糸魚川市大規模火災の被害の状況や被災街区の建物構造、飛び火による被害の状況、被災現場での風の状況、消防隊や消防団による実際の消火活動、延焼シミュレーションによる市街地火災の拡大予測と消防活動の効果、大規模市街地火災に対する今後の消防の取り組み方について講演を行う。
5	プログラム	消防研究センターのホームページ（ http://nrifd.fdma.go.jp/ ）をご覧ください（「イベント情報」欄の「【技術】第65回全国消防技術者会議」のリンクをクリック）。逐次詳細なものに更新します。

6	申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。 なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
7	申込み期間	8月14日（月）から11月23日（木）まで （但し、各日定員になり次第締め切ります。）
8	問い合わせ先	消防庁 消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440 E-mail : 65_gijutsusha@fri.go.jp

※ 消防庁各課室の直通電話番号は（<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp

【お知らせ】

次回の週間情報は、8月21日（月）の発行となりますのでご了承ください。